

# 高糖度トマト (奥出雲田園倶楽部)

## 倒産の原因は

大垣照子 議員

**町長** 要因は、計画的な資金繰りが困難と認識しています



**問** 農林水産省の多額な補助金を投入し操業した、高糖度トマト生産の奥出雲田園倶楽部が経営破綻した。原因は、昨夏の高温と今冬の寒波・降雪との説明だが、そのみか。

**答** 開業初年度より栽培データの不足から収穫量、販売額とも不安定な状況が継続し、計画的な資金繰りの困難さが、基本的要因と認識しています。

**問** 初期投資から大仕掛けで驚いたが、雇用の拡大に期待をした。先の答弁を踏まえどのような検証をしたのか。

**答** 町と県、関係者一同基本的な問題や支援は十



▲ 操業時の奥出雲田園倶楽部

分であったか、販路開拓等、生産面や販路の問題を含め、総合的な検証が必要と思っております。

**問** この事業には、国の補助金3億2千5百万円と合わせ6億8千万円余で創業。民間企業に対する国の多額な補助金投入。これは、国民の税金だが、倒産後の扱いは。

**答** これは、一般債権となり財産処分時の配当順位は低い。返還額は残らないと予想されています。仮に返還額相当の配当が残った場合は、その金額を国庫に返還となります。

**問** 当初計画からして大事業であり、コスト意識が必要であったのでは。町もこれまで2回にわた

り、技術指導料や栽培委託料、技術者育成料として約1千5百万円を投入している。町民の皆さんへの説明は。

**答** 栽培技術確立のためのデータ収集や対処方法を資料としてまとめ、町へ提出いただいています。今後、施設を引き継ぎトマト栽培を行う方が、データ活用できると思っています。

**問** 解雇された方への再就職の対応は。

**答** 基本的には、ハローワークでの求職活動ですが、早期の事業再開で再雇用ができるよう、事業継承者の確保に努力します。

**問** シイタケ農家は、年2回菌床の入れ替えが必要。1個216円の菌床を1回1万個替えれば即座に216万円必要だ。現在の菌床は、通常の半分程度しか生えず農家は大きな負債を抱え、前にも後ろにもいけなくなっている。菌床の内容について会社も含めどう考えているのか。

**答** 昨年初め不良ホダの発生報告を受け、補償は十分ではなかったが、奥

出雲シイタケから生産農家へ行っています。不良ホダの原因は、工場の水質浄化装置の老朽化で昨年、全て取り替えその後不良ホダの発生はないと承知しています。ホダ木は、単価を安くする努力をしたい。

**問** 経営が行き詰まり不幸な事につながってはいけない。会社も農家の皆さんと一緒にやっていただきたい。

佐白温泉施設建設予算が今議会にも提案され、本年度分と合計すれば6億円余となる。当初の計画では5億円。収支計画を今議会に提案するとの答弁があっているが、未提案だ。どうなっているのか。

**答** 経営の収支計画は、現在、NPO法人布勢の郷で鋭意検討されています。私は、まだ同法人との具体的な収支計画の協議をしていません。もう少ししばらく待っていただきたい。

※ これほど大きな税金投入だ。収支計画が一番大切でないと疑問を持つ。速やかな提出を。